

平成27年度 佐久市部落差別撤廃人権擁護審議会
議事録（要約）

日 時：平成27年7月27日
10:00～11:10
場 所：議会棟 全員協議会室

1 開 会 進行：人権同和課長

2 会長あいさつ（佐藤会長）

3 会議事項 議長：佐藤会長

(1) 第三次人権に関する総合計画策定に向けての「市民意識調査」及び「同和地区生活実態調査」の調査内容等について

（事務局より説明、吉岡）

(2) その他

・ 11月の審議会の開催について

・ 第67回全国人権・同和教育研究大会について

（事務局より説明、市川係長）

4 閉 会

【質疑、意見】

(1) 第三次人権に関する総合計画策定に向けての「市民意識調査」及び「同和地区生活実態調査」の調査内容等について

・ 番号等の修正個所の指摘多数あり

(委 員) 生活実態調査の世帯員調査の「学歴」ですが、大学院以上の選択肢に「卒業・中退・在学」とありますが、修了という使い方をするかもしれませんので確認をお願いします。

(委 員) 生活実態調査の世帯員調査になりますが、左側の列が同一世帯の世帯員の方それぞれに回答してもらうということで、番号が振ってあるかと思いますが、書く方としてはわかりにくい。こういった形で書いていただきたいとか書いた方がよろしいのではないかと思います。また、「珠算・簿記（ 級）」とありますが、それぞれの級を書けるようにした方がよいかと思います。

(事務局) 資格名などをきちんと検討し、修正したいと思います。

(委員) 全体にわたってですが、「障がい」と記載してある箇所と「障害」と記載してある箇所がありますので、そちらをチェックしていただきたい。それと、市民意識調査の「子どもの人権」の設問ですが、問4-1の選択肢に「仲間はずれ」とありますが、長野県の方では「仲間はずし」としています。はずれるのではなく、はずされるので昔から使っております。それと、問10のエイズに関する設問ですが、選択肢の「エイズ検査」は最近では「HIV検査」と使うのが主流だと思います。また、「人権侵害について」の問14-2ですが、選択肢に兄と弟の「兄弟」が使われているのですが、女性が入っておりませんので、選択肢に「姉妹」を入れるか「きょうだい」とひらがなで表記した方がいいかと思います。

(事務局) 検討しまして、訂正する箇所は訂正していきます。

(委員) 生活実態調査の世帯員調査ですが、書く枠が5つしかありませんがそれ以上の場合はどのようにしたらいいか。

(事務局) 1枚ですと確かに5人分までしか記入できませんが、実際に調査をする際には世帯員調査票を複数用意しますので、1枚で足りないご家庭には追加でお配りしていただく予定です。

(委員) 提案ですが、市民意識調査の問14-1の選択肢に各人権侵害が選べるようになっていますが、最近の人権侵害として「マタニティ・ハラスメント」を加えてはいかがでしょうか。次に問8-1外国人の人権の設問ですが、ここにある「生活に必要な情報」とうのは多言語のことを言っているのだと思いますが、多言語で用意できない場合として「やさしい日本語」が求められるし、あればいいなと思っています。ちょっと検討してみてください。それと同じ設問内の6番目の選択肢にスポーツ施設、ショッピング施設とありますが、ここに公共の施設について書いてないので検討していただきたい。多言語表示というのは、何種類も言語を並べるわけにはいかないと思いますので、「やさしい日本語」か、場合によっては漢字にルビを振るのもいいかと思います。

(事務局) 検討させていただきます。

(委員) 第一次、第二次と総合計画をやってきました、どのような課題が残っているか、その課題に対してこれからどうするか、第三次総合計画の策定に向けての実態調

査・意識調査を行うということですが、調査をやった分析に基づいて、総合計画を作るというのが筋だと思います。

また、表の生活実態調査の鑑文書を見ると、「今後の啓発活動の課題を明らかにするための基礎資料として～指針作りに活かしていきたい～」という言い方ですが、これは生活実態を調査して啓発活動の課題を明らかにするだけだと不十分だと思う。差別の実態、差別の現状を分析するということであって、その差別の実態に対して、差別を無くすためにどう計画を立てるか、そのための調査なので啓発活動だけではないと思います。その点を検討した方がいい。市民意識調査の設問の最後の方に「今後の人権教育・啓発のあり方について」と聞いていますが、教育・啓発活動の課題を明らかにすることなので、「教育」を文言に入れなくてはいけないと思います。

(事務局) 表の鑑の文章につきましては検討させていただきたいと思います。確かに啓発活動の課題という部分では、若干、捉え方の部分では不足しているかとは思いますが。

また、今年、このような調査をしまして、再来年度から新しい計画を策定します。これまでの課題等と検討をしまして、第三次の計画に反映していくということを含めて今まで以上にやっていきたいと思っております。